



# 東名阪自動車道 大山田PAスマートIC（仮称）

## 概要



本物力こそ桑名力

令和 6年10月

桑 名 市

1. 路線名	1
2. 連結位置及び連結予定施設	2
3. 連結を必要とする理由	3
4. 管理・運営形態	4
5. スマートICの設置により期待される整備効果	5

# 1. 路線名

[路線名]

近畿自動車道名古屋亀山線（東名阪自動車道）



至 大阪

## 2. 連結位置及び連結予定施設

【連結位置】	上り線	三重県桑名市大字播磨 <small>くわな し おおあざ はりま</small>
	下り線	三重県桑名市大字蛸塚新田 <small>くわな し おおあざ かきづか しん でん</small>
【連結予定施設】	上り線	市道 大山田スマートインター1号線 (仮称) <small>おおやまだ</small>
	下り線	市道 大山田スマートインター2号線 (仮称) <small>おおやまだ</small>



### 3. 連結を必要とする理由

#### 大山田PAスマートIC（仮称）の設置の必要性

##### [必要性①産業活動の支援]

- 東名阪自動車道と産業誘導ゾーン・工業集積地等とのアクセスルートは、生活道路への大型車走行や渋滞などの交通課題箇所が存在しており、**既存企業の活動や新規企業の誘致に支障を来している**
- 既存企業の生産性向上及び新規企業の誘致促進のためには、**高速道路へのアクセス性の向上が必要**であり、既存企業の83%がスマートICの整備に期待

##### [必要性②IC周辺道路における渋滞緩和]

- 東名阪自動車道と産業誘導ゾーンを連絡するアクセスルートは、慢性的な交通渋滞や速度低下が発生し、**日常的な生活交通の快適性や産業交通の速達性を阻害**
- アクセスルートの交通混雑を緩和するためには、**東名阪自動車道への利用経路の分散が必要**

##### [必要性③地域活性化（住民生活の利便性向上）]

- 大山田PA周辺の陽だまり地区等から名古屋方面への高速バスは、**通勤・通学等で1日に約1,800人が利用**
- 桑名東ICを経由する高速バスルートは、**乗車時間が長い、利便性が悪い、運行が非効率**
- 陽だまりの丘地区住民の利便性やバス事業者の効率化に向けた**運行改善（ルート見直し）が必要**

##### [必要性④防災機能の強化]

- 三重県広域受援計画において**大山田PAは自衛隊等の進出拠点**となっているが、直接一般道に接続していないため、広域支援の際、防災拠点施設等へのアクセスには**隣接する桑名東IC、桑名ICからの進出が必要**
- しかし、桑名東IC、桑名ICから防災拠点施設や指定避難所へのアクセスルートは**洪水・高潮・津波の浸水想定区域（災害発生時に通行不能）**にあるため、**災害発生時に機能する避難路・物資輸送路の確保が必要**

## 4. 管理・運営形態



- ①運用形態：フルインター形式
- ②運用車種：ETC車載器を搭載した全車種  
(軽自動車等、普通車、中型車、大型車、特大車)
- ③運用時間帯：24時間
- ④監視体制：ETC監視員の配置体制については、スマートIC集約監視施設からの遠隔監視を基本とする

※当該IC供用後も継続して、管理・運営形態をフォローアップし、必要に応じ見直す

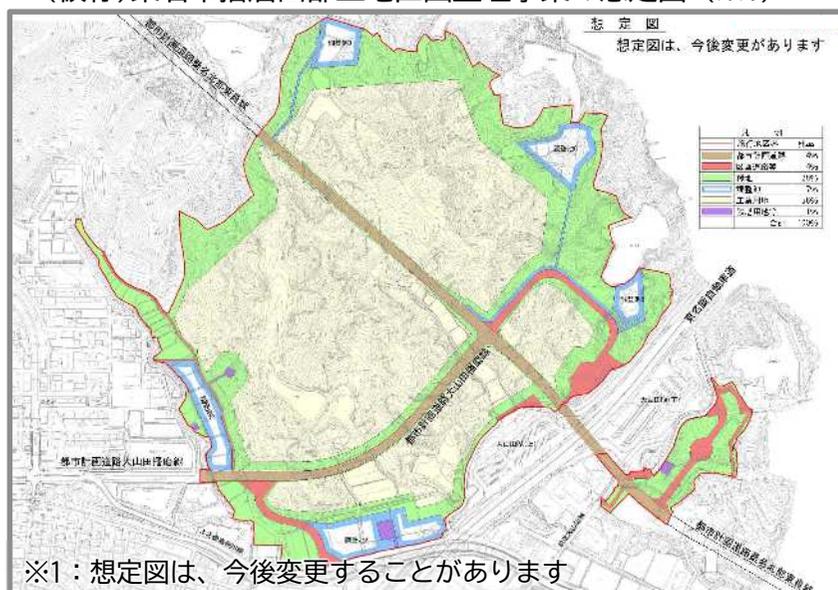


# 5. スマートICの設置により期待される整備効果

## [整備効果①産業活動の支援(2)]

- スマートICの整備により、**区画整理事業地から高速道路へのアクセス所要時間は、最大4分短縮し、土地区画整理事業区域内における企業立地の促進に貢献**
- 立地を検討する企業は、**運搬・移動時間や通勤時間が短縮される等、利便性の向上に期待**

(仮称)桑名市播磨西部土地区画整理事業の想定図 (※1)



区画整理事業から高速道路までの所要時間

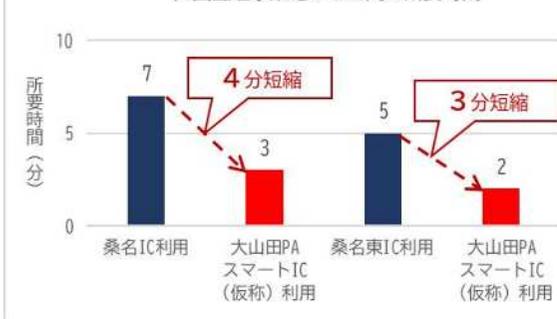


所要時間：H27道路交通センサスより

### (仮称)桑名市播磨西部土地区画整理事業の概要

- 【面積】 約67ha
- 【事業手法】 土地区画整理事業 (組合施行)
- 【土地利用計画】 工業用地 (物流倉庫、工場等)
- 【事業熟度】
  - ・意向調査書収集・集計：R2.8月～R2.9月
  - ・地元説明会：R2.10月、R5.5月
  - ・設立準備委員会：R3.2.9結成
  - ・仮同意取得率：約90%取得済
  - ・環境アセスメント：準備書作成済(手続中)

区画整理事業地からIC間の所要時間



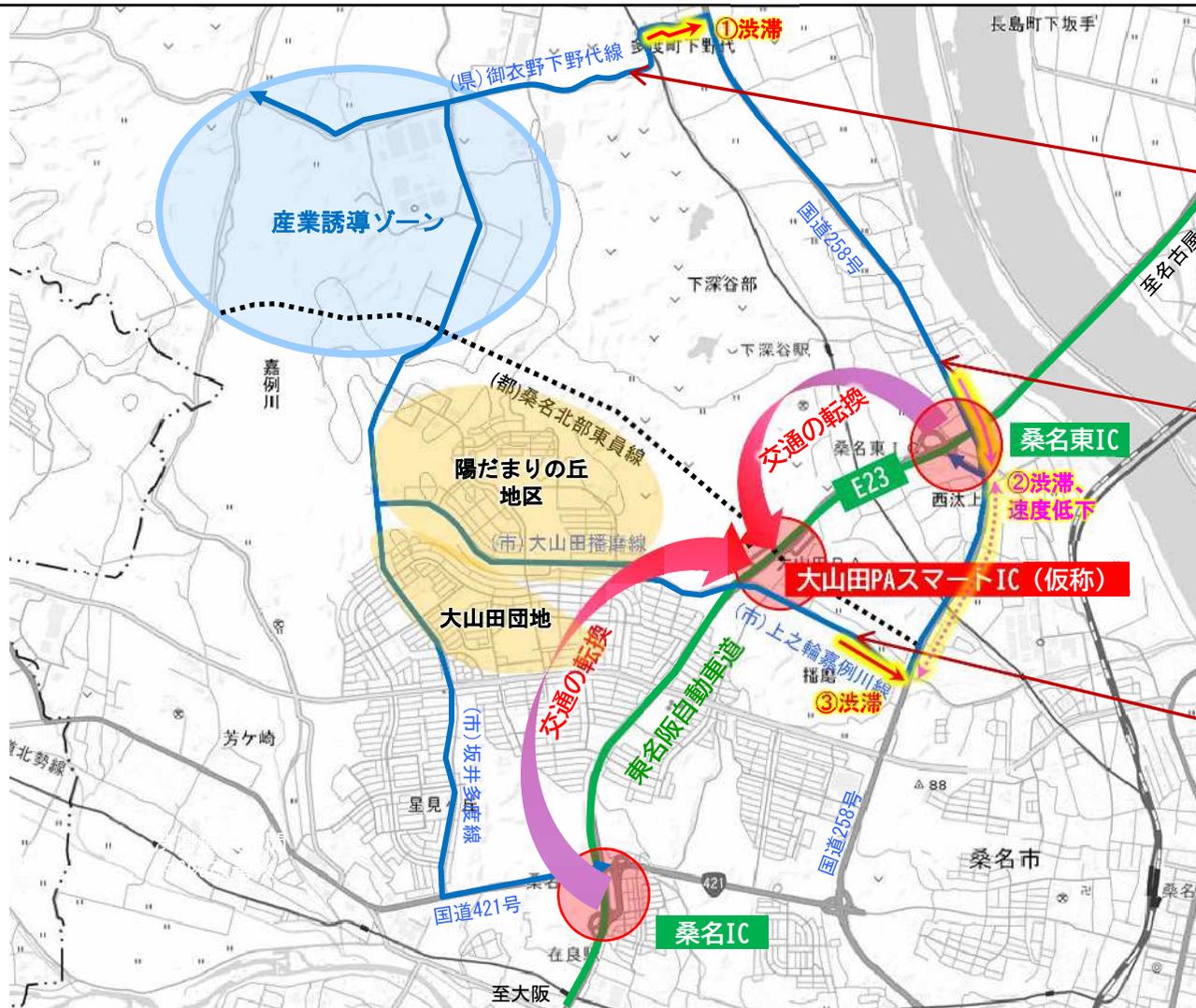
●桑名市は名古屋から25km圏域に位置し、四日市港からも30分以内で到着できるなど交通の利便性が高い地域だね。スマートICの計画は、より交通の利便性が向上することが大きなメリットだね。  
【区画整理組合関係者より聞き取り】



# 5. スマート I C の設置により期待される整備効果

## [整備効果②渋滞緩和]

- スマート I C の整備により、産業誘導ゾーンから東名阪自動車道へのアクセスルートでは、交通の分散により、**最大約12%の交通量の削減が期待でき、交通渋滞の緩和に貢献**
- 上記アクセスルートでは、**交通事故の減少や集落地・住宅団地内における通過交通の軽減にも貢献**



※将来交通量推計より

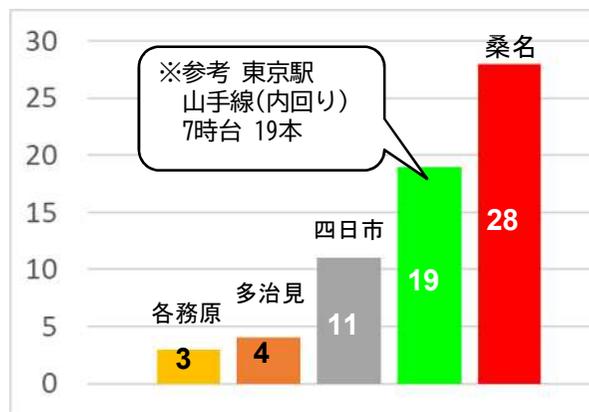
# 5. スマート I C の設置により期待される整備効果

## [整備効果③地域活性化]

○スマート I C の整備により、新規高速バス路線が開設し、運行ルートが見直された場合、**陽だまりの丘地区から東名阪自動車道への運行時間が約10分短縮、1人あたり年間損失時間約82時間の削減**



※現行バス時刻表及び運行距離より試算



●通勤・通学(平日)の1人あたり年間損失時間削減量  
往復20(分/日)/60(分/時間)×平日245(日/年)  
=約82時間/年・人の削減

●通勤・通学(平日)の陽だまり地区等路線全体の年間損失時間削減量  
81.6(時間/年・人)×1,800(人)/2  
=約73,500時間/年の削減

※桑名市藤が丘三丁目バス停 7時台の高速バス本数  
出典：岐阜バスHP、東鉄バスHP、JR東日本HP、三重交通HPより (R4年12月時点)

# 5. スマートICの設置により期待される整備効果

## [整備効果④防災機能の強化]

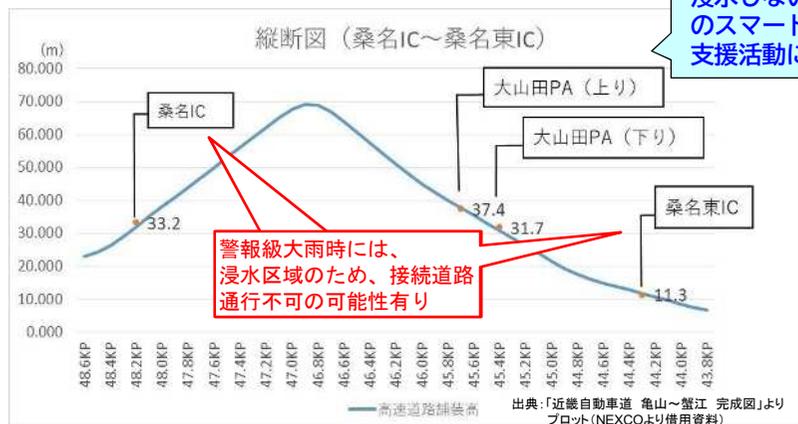
- スマートICの整備により、接続する一般道が浸水想定区域外である**大山田PAから直接被災地への進出が可能**となり、自衛隊等の進出拠点として**迅速な支援活動が期待**
- さらに、高い地形のため、災害時に機能する**避難路・物資輸送路の確保に貢献**
- また、スマートICへのアクセス道路となる(都)桑名北部東員線は、**被災地への広域避難経路としての利用だけでなく、沿岸部への道路啓開ルートとしての活用も期待され、リダンダンシーが確保**

### 進出拠点から被災地への進出イメージ



スマートICが設置されると、迅速に進出可能

### 桑名IC、大山田PA、桑名東ICの高さ



### 防災拠点施設等へのアクセスルート

